

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Fコート 第2試合 東京成徳大学深谷高校

チームA			18 - 19 17 - 16 24 - 8 20 - 24		チームB
桜丘	79		67		県立七尾
愛知					石川

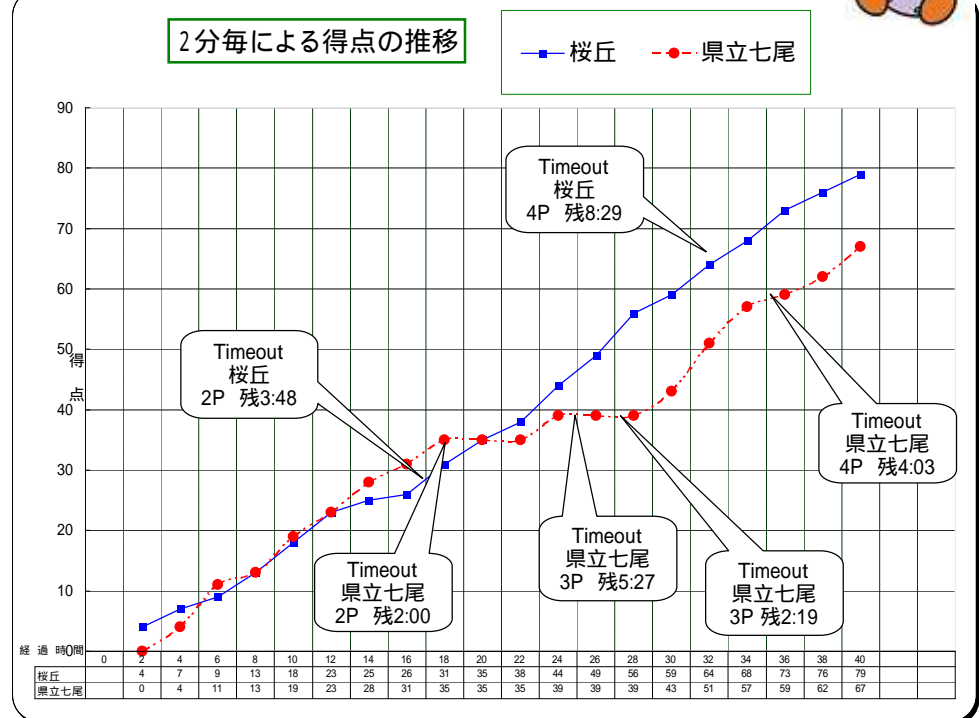
桜丘

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	野崎 亮太	X	21	2	3	7	9	1	1	1	0	2	3	0	3	0	35
5	水越 悠太	X	4	0	1	1	5	2	3	0	1	6	2	0	4	0	27
6	岩附 孝興	X	7	0	0	3	8	1	4	0	5	6	3	1	1	0	37
7	浜野 太暉	X	10	1	1	3	8	1	1	4	2	2	1	1	2	0	25
8	川熊 史弥	/	2	0	5	1	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	9
9	太田 拓志	/	2	0	0	0	1	2	4	0	0	0	1	0	2	0	5
10	マンタス・P.V	X	18	0	0	8	12	2	4	0	4	5	1	0	1	0	28
11	堀田 渡	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	蔵地 慧	X	15	3	7	3	6	0	0	1	0	10	1	1	1	0	33
13	鈴木 拓	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14	橋田 正良	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	中村 浩章	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	江崎 悟	/	/	/	/	/	/	/	/	0	4	7	/	/	/	/	/
出場: xは先発、/は出場			79	6	17	26	51	9	17	8	16	40	12	3	16	0	200
確率			35.3%		51.0%		52.9%				計	56					

県立七尾

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	安井 英司	X	27	4	11	6	14	3	4	2	0	3	2	1	4	0	38
5	新谷 文弥	X	4	0	1	2	8	0	0	4	1	6	2	0	2	1	36
6	池田 耕司	X	8	0	1	3	4	2	3	0	2	5	2	2	1	1	34
7	島田 大輔	X	4	0	7	2	7	0	0	3	2	5	3	0	2	0	37
8	杉木 啓悟	X	7	1	1	2	6	0	0	5	1	1	0	1	1	0	18
9	松田 健志	/	5	1	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
10	道下 忠成	/	12	4	9	0	0	0	0	5	1	1	0	1	1	0	16
11	遠藤 祐介	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12	石坂 亮祐	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	麻田 拓馬	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	森下 義仁	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	道下 孝祐	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	黒坂 昭弘	/	/	/	/	/	/	/	/	0	4	6	/	/	/	/	/
出場: xは先発、/は出場			67	10	33	16	41	5	7	19	11	27	9	5	11	2	200
確率			30.3%		39.0%		71.4%				計	38					

2分毎による得点の推移



戦評

初出場の桜丘と22年ぶりの出場となる七尾の共に初戦を突破したい対戦。
第1P 両チーム共にマンツーマンでスタート、桜丘はリアニアからの留学生#10マンタスを軸に攻撃するのに対し、七尾は激しいディフェンスで身長差を運動量でカバーする。桜丘は七尾のスピードに対抗し、#10マンタスを交代し速い展開で勝負を仕掛け、七尾1点リードで終了。
第2P 速い切り替えから得点を重ねる七尾ペースで試合が進む。残り3分で7点差とされた桜丘はセンター#10マンタスをコートに戻し3-2のゾーンに変える。これが功をそうし#10マンタスのゴール下、#4野崎のシュートで同点とし前半を折り返す。
第3P 桜丘は#10マンタスを前に出した3-2ゾーンで七尾の外からのシュートをおさえにかかり、オフェンスでも#10マンタスを軸とした内外バランスのとれた攻撃で得点を重ね、残り4分で10点差とする。七尾もタイムアウトを取りディフェンスを頑張るが、高さに対抗できず10点差をつけられて終了。
第4P 七尾は2-2-1のゾーンプレスから1-2-2のゾーンに切り替え反撃をはかり、#4安井の活躍で5分には9点差とする。しかし、桜丘は#4野崎のドライブイン#12蔵地の3Pで79対67とし、インターハイ1勝をあげた。

主審	谷古宇 孝	副審	和田 雄一郎	戦評	鈴木 朋弘 (埼玉県高体連)
----	-------	----	--------	----	----------------

3P: スリーポイントシュート, 2P: 2ポイントシュート, FT: フリースロー, OF: オフェンス, DF: ディフェンス, TO: ターンオーバー, ST: スティール, AS: アシスト, BS: ブロックショット